

住民参加 自助・互助 地域づくり 資源開発

坂町

住民の自助・互助力をあげるサロンへのアプローチ

みどころ！

町内で行われているふれあいサロンにおいて、参加者・世話人と一緒に「この地域でずっと住み続けるために必要なこと」をグループに分かれてワークショップ形式で意見を聴き、地域住民でできること、町が地域包括ケアを進める上で考えられることを整理した。

参加者から、地域の大切なものについて貴重な意見を聴くことができた。なかには町も地域包括支援センターも改めて知った、地域住民の助け合いや仲間づくりに、いろいろな取組みがされているという収穫もあった。今後、マップに落とし込みながら、地域に不足していること、あったらいいことを検討し、地域づくり・資源開発につなげていく取組みを進めていく。

地域概要

実施主体

総人口 13,052 人

坂町

65 歳以上人口 3,838 人 (高齢化率 29.4%)

坂町地域包括支援センター

75 歳以上人口 1,875 人 (高齢化率 14.4%)

(平成 28 年 2 月 29 日現在)

坂町は、広島県の南西部、安芸郡の南に位置し、中四国地方の中心都市である広島市と隣接しています。町内には JR 呉線の駅が 3 つあり、広島呉道路、広島南道路などの幹線道路網も整備され、広島市や呉市の中心部まで約 20 分でアクセスできる交通利便性が高い町です。

海、山といった恵まれた自然環境の中で、生活圏がコンパクトに形成されており、緑豊かな山々と美しい広島湾の風景が広がっています。

昭和 40 年代以降から行われてきた埋め立て事業である広島東部流通団地建設事業や、広島港坂地区開発事業は、流通団地や学校、総合スーパー、郊外型商業施設、さらには宅地開発を促進し、坂町を大きく発展させ、広島都市圏東部の新拠点として、期待を集めています。

地域包括支援センターの活動紹介

【体制】

社会福祉法人恩賜財団済生会に委託。社会福祉士 1 人、主任介護支援専門員 1 人、看護師 1 人、事務員 1 人

【活動】

坂町地域ケア事業者連携会議を年 2 回開催。隣接する海田町と合同で介護支援専門員連絡会議を 2 ヶ月毎に開催している。

町民へ地域づくりに大切な様々な情報や問題提起を行うため、広報紙「ちょっと役立つ！坂町地域包括支援センター通信」を発行している。

認知症サポーター養成講座は一般住民に加え、町内の小学校や警察学校でも実施している。

坂町行政と密な連携のもと、二人三脚で地域支援を展開中。

取組みの背景と課題認識

坂町には、坂地区、横浜地区、小屋浦地区の3つの小学校区があり、住民自治組織である地区住民福祉協議会において主体的な地域活動がある。しかし坂町には旧来から長く定住する住民と、都市部へのアクセスの良さから新たな定住を始める住民との融合が課題だった。地域包括支援センターでは、住民の生活課題の把握をするとともに、さらに主体性と自立性をあげることを目的に、積極的に出前講座を行い「顔の見える関係づくり」に力を入れるとともに、平成29年度からの総合事業開始に向けて、町と地域包括支援センターは、住民意識の把握と地域包括ケアの考え方を共有する規範的統合をめざした新たな取組みが必要と考えた。

取組みの内容

ワークショップ形式で住民同士の話し合いにより地域でできることを一緒に考えてみました

目的

- ①住民が坂町の高齢者生活の現状と課題、対策、地域包括ケアシステム構築の必要性を知る
- ②可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けるために、住民自身ができることを考える

対象

- ①小屋浦ふれあいサロン(小屋浦地区)
- ②どんぐりの会(横浜地区)
- ③浜宮ふれあいサロン(坂地区)

方法

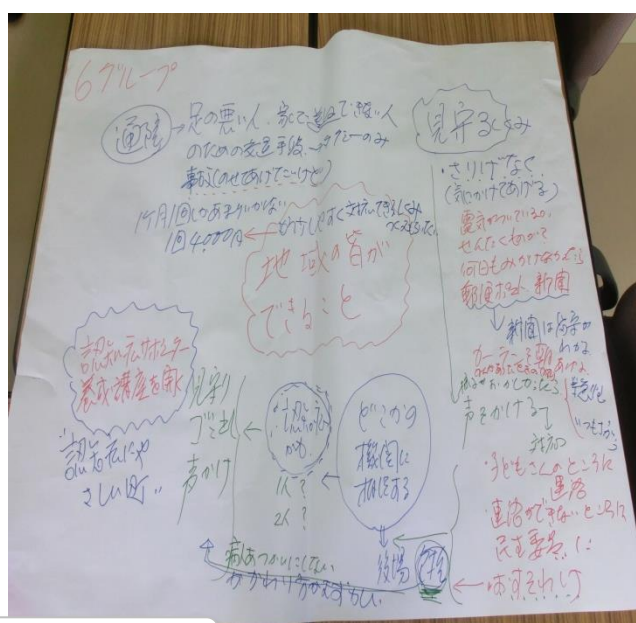
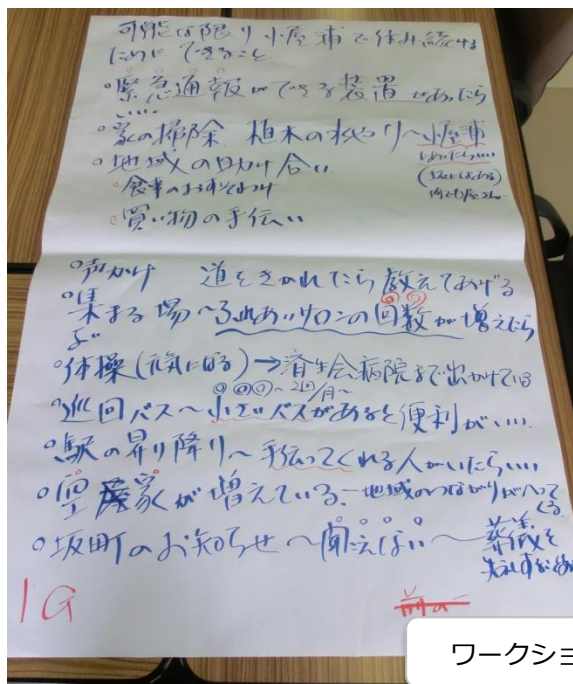
- ①地域で支えあうしくみづくりの必要性を行政が説明
- ②6人から7人を1グループとして、ワークショップを行う

＜ワークショップの進め方＞

- 【1回目】自分が住み慣れた町で、暮らしていくために「なくなったら困る大切なもの」について、「Wify」を用いて自由に書き出してもらい、各グループで話し合う。
- 【2回目】地域での支え合い、助け合いの観点から、自分のできること、助けて欲しいことを話し合う。
- 【3回目】今までの話し合いを踏まえて、すでにあるインフォーマルサービスをもとにマップづくりをして、地域に必要なもの、活用できるものについて話し合う。

守山正樹の Wify(－生活の中から言葉を育てて、生活世界の多様性を学ぶ)を参考にワークシートを作成。各サロンの参加者層を考慮しながらワークをすすめる。ワークショップの進行は地域包括支援センター職員が行い、各テーブルのサポートに町職員他、広島県、保健所、県地域包括ケア推進センター職員等が入る。

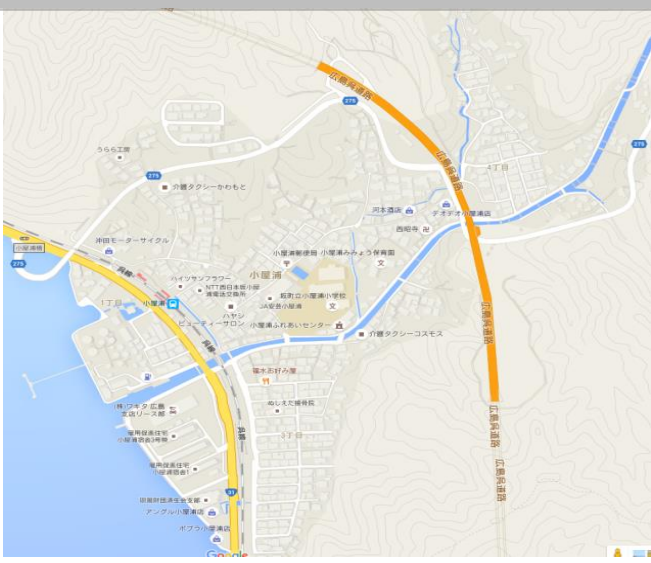
	(歳) 男性・女性			
	ここからスタート			
	① あなたがこの地域で、ずっと住み続けるために地域で、どんな時・どんなことで助けを求めますか。			
↓				
	② ①について、あなたはどんな助けが出来ますか。			
↓				
	③ いつまでも地域で支えるためには、どのような仕組みにすればよろしいでしょうか			
↓				



ワークショップの意見発表

地域でできることを一緒に考えてみませんか？					まとめ
みなさんからの意見	介護保険	市町村事業	民間市場 (宅配など)	地域の助け合い	自分でできること
<p>① 安心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病状が必要、町外の病院への通院も必要。 ・介護が必要になったら子どもには頼れない(子ども・家族は大事) ・お互い声を掛け合う近所付き合いがある。民生委員の助けがある。 ・町内会、長寿会、サロン、ふれあい運動会などの活動が活発 ・連絡に備えて連絡網を作っている。 ・祭りも盛ん 				<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいサロン ・空き家の活用 ・民生委員さんが顔目に戻る ・地区長さんが地域をよく知る ・見守りのためのしくみ(一人暮らしの見守り確認)を作る ・緊急通報装置の設置 ・不審者・不審電話の情報 ・見守る仕組み…さりげなく気に掛ける)電気がついていないか 洗濯物が干してあるか 何日も見かけない 郵便ポストにゴミがたまっているか 新聞受けに新聞がたまっていないか 留守がわかる防犯カメラ 	<ul style="list-style-type: none"> ・運転の代行(病院・買い物など) ・救急車を呼ぶ手助け ・消防の手伝い ・地域包括支援センター・役場・病院へ連絡する ・声かけ ・見守り ・困りごとを民生委員・関連団体に伝える ・支援を受ける側が気に掛ける方法 ・朝カーテンを開けて安否がわかるようにする ・入院するとそのことを知らせる ・地域の方の様子を時々見合わせる ・子どもさんや救急車等に連絡 ・連絡場所がわからない時は民生委員さんに連絡
<p>② 日常的な家事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農機やコンビニがある方の店と買い物に行くこともある ・生活、移動時乗車が多い食材の配達があり助かる。時には息子や車で連れて行ってくれる。 ・ゴミ回収場所が近くにあって助かる(車で5年後が心配) 		<p>坂町が様々なところと話し合いをしながら考えています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家の掃除 ・植木の水やり 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事のおすそ分け ・収穫した野菜のおすそ分け ・買い物の手伝い ・買い物を手伝う(車や歩いてOK) ・ゴミ捨ての手伝い ・声かけ ・調理をしておける ・一人暮らしの認知症かも ・開け方が難しいけど、見守りやゴミ出しや声掛けはできる ・困った事案に普通したとき、役所や地域包括支援センターに連絡する 	

これら意見をマップ化してフィードバック



取組みの成果と今後の展開と課題

【成果】

参加者は「地域でなくなったら困る大切なものについて、住民の皆様から貴重な意見を聞くことができた」、「住民同士で助け合えることがある」、「助けてくれる人がいる」ということを再認識し、地域で支え合うための共通の意識を持つことができた。

町としても、地域住民の助け合いや、仲間づくりの活動などの資源が地域の中にあることを改めて発見できた。

【今後の展開と課題】

町内12地区にあるサロンの内、今年度はモデル地区として3ヶ所のサロンにおいてワークショップを実施したが、28年度には地域資源の把握や地域のボランティアの養成、介護予防の実践を目標に、残り9ヶ所のサロンにおいて実施していく。

地域の特性に応じたワークショップの運営と、話し合いの場づくりを行っていくとともに、多職種連携会議においては、各関係機関が規範的統合の考え方を共有し、地域包括ケアシステムを構築していく。

取組みのポイント、機能強化ポイント

住民意識を醸成させるためにワークショップを実践した。出された意見が今後どのように反映されていくのかといった住民の期待に、誠実に応えていく行政や地域包括支援センターの姿勢によって、めざすべき住民主体が構築されていく。成功事例の創出に、手掛ける地域やふれあいサロン等のモデル地区の選定、下準備、役割分担、ふりかえり等を実施したことで、他の地域への波及効果が期待できる。

連絡先

坂町民生部保険健康課	082-820-1504
坂町地域包括支援センター	082-885-3701
広島県地域包括ケア推進センター	082-569-6493
広島県健康福祉局地域包括ケア・高齢者支援課	082-513-3198

平成28年3月現在